

東レ・ダウコーニング株式会社
 東京都千代田区丸の内 1-1-3
 AIG ビル 〒100-0005
 TEL:03-3287-8300 (代表)
 FAX:03-3287-8460

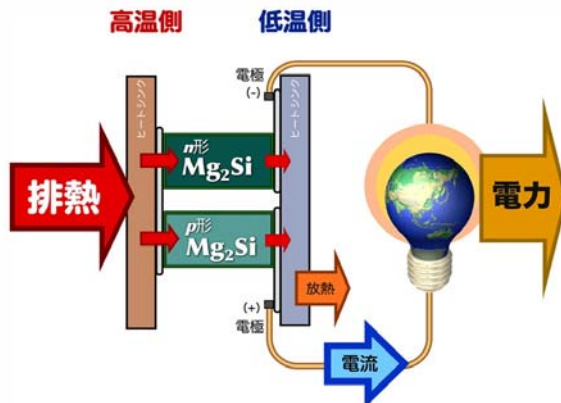
2009年7月17日

東京理科大と共同研究 環境負荷の少ない熱電変換素子を開発 サーモテック 2009 に共同展示

東レ・ダウコーニング株式会社（本社：東京都千代田区／代表取締役社長：大志万 俊夫）は、東京理科大学飯田研究室と熱電変換素子及びその材料について共同研究を進めてきました。その成果を「環境対応型熱電変換技術研究会」の一員として、7月22日（水）より東京ビッグサイトで開催される「サーモテック2009」に出展する運びとなりました。会場では、飯田研究室の研究成果展示および熱電変換素子のデモを行います。

飯田研究室は、熱エネルギーを電気エネルギーに変換する熱電変換素子の普及による熱エネルギーの有効活用を通じて、地球温暖化を改善することを目指しています。環境負荷が少なく資源量的に問題の少ないマグネシウム（Mg）とケイ素（Si）からなるマグネシウムシリサイド（ Mg_2Si ）を素子のメイン材料とし、材料から素子、アプリケーションの研究開発まで幅広く行っています。

「環境対応型熱電変換素子研究会」は、飯田准教授を会長に熱電変換素子の研究開発に関心のある法人・個人で構成されています。東レ・ダウコーニングは主要メンバーの一員として主に材料開発を担ってきました。ケイ素の可能性を広げ、地球温暖化対策への貢献を目指していきます。



図：熱電変換素子の発電原理
 温度差で電子を動かして電気に変える

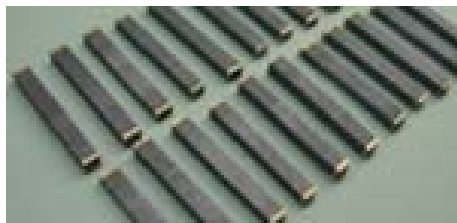


写真:マグネシウムシリサイド(Mg₂Si)成形品

サーモテック 2009 第 5 回 国際工業炉・関連機器展

会期： 2009年7月22日(水)～24日(金) 10:00～17:00

会場： 東京ビッグサイト 東1ホール

出展ブース： C-10 東京理科大学 TL0・環境対応型熱電変換技術研究会

■東レ・ダウコーニング株式会社について

1966年、高分子化学のパイオニアである東レと、世界のシリコン技術革新をリードするダウコーニング社の合併により事業を開始。膨大な研究蓄積を基盤に、最新かつマーケットニーズに即応したシリコンを中心とした機能性素材の開発を行ない、さらに顧客企業のグローバル化に呼応して、ダウコーニングとの協力体制のもと世界各所において製品および関連サービスを供給しています。

現在、ダウコーニングは世界で2万5千を超す顧客企業に対応、7千以上の製品およびサービスを提供する、ケイ素関連技術とその革新のグローバル・リーダーです。

本件に関するお問い合わせ先

●報道関係の方からのお問い合わせ

東レ・ダウコーニング株式会社

東京都千代田区丸の内一丁目1番3号AIGビル

Web：www.dowcorning.co.jp

広報担当：高杉記子 TEL：03-3287-8439 / FAX：03-3287-1203

E-mail：noriko.takasugi@dowcorning.com

または

新事業本部 B&T I部 マーケティンググループ

原崎 崇： TEL：03-3287-8324 / FAX：03-3287-1065

E-mail：takashi.harasaki@dowcorning.com

●読者からの製品に関するお問い合わせ

ビジネスセンター TEL：0120-77-6278